

プラス成長の東アフリカ

▽:世界では、新型コロナウイルスの感染拡大に敏感な状況が続いている。中でも、比較的影響を抑え込んでいるのが東アフリカだ。国連工業開発機関（UNIDO）東京事務所のア

トバイザー、タデッセ・セグ二氏によると、担当エリアのエチオピア、ウガンダ、ブルンジの4カ国における6月9日時点の感染者は3539人、死者は35人だという。

散歩道



▽:最も多いのは人口1億人を超えるエチオピアだが、感染者は2336人、死者は32人。ウガンダでは死者は出ていない。コロナ影響以上に打撃となって

いたのは、外貨獲得の有力手段となるコーヒーなど農作物の輸出減だったが「徐々に回復してきています」とのこと。

▽:世界銀行が先週8日に発表した最新の経済見通しによると、エチオピアは3・2%、ウガンダは3・3%と、これら4カ国は今年もプラス成長が見込まれている。地域によるが、鉄鋼貿易でもアフリカ向けは比較的堅調だ。エチオピアでは来月にもアフリカ最大にして世界7番目の水力発電で水の充填が始まる予定。ブルンジの1億8千万人に上るニッケル埋蔵など同地域のポテンシャルを挙げながら、日本企業の投資・進出へ期待を寄せるタデッセ氏だった。

待を寄せるタデッセ氏だった。